動画⇒ https://twitter.com/akira_pt4ever/status/1386272647927930888

「なぜmRNAワクチンが変異株に対して危険か？」
細川豊史・京都府立医大名誉教授
聞き手：国際ジャーナリスト　堤未果

「割と変異がよく生じるんですよね。

変異というのは、同じタイプじゃなくて、
ちょっと変わっちゃうということですね。

その変異が起こるところに、このS抗原（スパイクタンパクの意味）
というのも実は変異を起こすんですけども、

今、例えば、日本で流行っている、コロナのS抗原に対して
抗体を作るってことはこれは多分短期間につくることは
可能性としてはあると思うんですね。

でも、そのS抗原が変異を起こしてしまった場合、
これは多分、ワクチンの専門家にとっては常識だと思うんですけども、
その変異したS抗原に対してできた抗体っていうのは、まあ中途半端な抗体なんですよね。
で、ヒトの免疫っていうのは、実は随分怖くって、暴走してしまうと逆に
元の生体自分自身を傷つけて時には死に至らしめるということは往々にしてある
ことなんですけども、、、」

聞き手「免疫が暴走する？」

「そうです。で、これはね、同じようなことがかつて一番多かったのがデング熱
に対するワクチンだったんですけども、やはり似たようなことが起こって
接種された多くの方が亡くなったんですよね。
これがね、いま、あの一実は、このウィルスの肺に感染を起こしてですね、
体中の臓器に血栓ができて、サイトカイン・ストームなんていう言葉がよく使われる
んですけども、全身の炎症反応に伴うことがよく生じるわけなんですね。

それと同じようなことを実は変異したそのS抗原に対する不忠群といいますか
変わっちゃった変な抗体が出来た場合、それをジャッキしてその生体を傷つけてしまう
ということは、まあ、ウィルスの、こういうワクチン製造をやってる方にとっては
常識なんですよね

で、今回、巷に流れている話しが、この基本的な話しが全く欠如しているんですよね。」

聞き手「聞いたこと無いですね。テレビとかワイドショーで。
結局ワクチンを打つことによって、それが変異したときに、
自分の免疫が暴走して、あの一、自分のことを傷付けて、ものすごい症状に
引き起こす可能性があると。」

「そうですね。」

聞き手「そういうリスクについては、知らないんですか？みんな？」

「これはね、まあ、極端に言うと、いいゃあんな先生はワクチン反対派ですか
みたいな感じにこうね、プラスかマイナスかにね、こう、黒か白かに絞られちゃう・・
全然そうではなくって、これは学問的にと言うかワクチンの世界ではまず常識なんです。」